

地方公営企業の抜本的な改革等の取組状況(令和4年3月31日時点)

団体名	業種名	事業名	施設名
加須市	下水道事業	公共下水道	—

実施状況

抜本的な改革の取組							現行の経営体制を継続
事業廃止	民営化・民間譲渡	広域化等	民間活用				
			指定管理者制度	包括的民間委託	PPP/PFI方式の活用	地方独立行政法人への移行	
							●

現行の経営体制・手法を継続する理由、今後の方向性

抜本的な改革に取り組まず、現行の経営体制・手法を継続する理由及び現在の経営状況・経営戦略等における中長期的な将来見通しを踏まえた、今後の経営改革の方向性

令和4年3月末現在の当市の公共下水道加入率は85.4パーセントであり、引き続き加入促進に努めることで下水道使用料収入の増収が見込まれる。また、企業債残高の圧縮や企業債償還金が段階的に減少している状況から、現行の経営体制等で財政的負担の軽減に取り組むことができている。
 しかし、今後の人口減少によるサービス需要減少や施設の老朽化による更新需要の増大などに備え、令和4年度の経営戦略の改定に当たり、抜本的な経営改革を検討していく。